

COOP-JOSO News Letter

2019年7月2回号 発行/常総生協広報G

2019年度活動テーマ(案)「JOSO食材でかんたん・うちごはん」

能勢^(のせ)農場の牛肉 が供給スタート!



7月2回から常総生協で新しい「牛肉」の企画がスタートします。農場の名前は、大阪府豊能(とよの)郡にある「能勢(のせ)農場」。能勢農場とは2013年から福島第一原発事故後子どもたちの保養を目的としてサマーキャンプを通し、交流を深めてきました。

今回サマーキャンプの交流の場としてだけでなく「牛肉」を取り扱う事になったのは、地域循環で飼料を集め自家配合しているこだわりや、能勢農場スタッフがとても魅力的でそれが牛の表情にも出ており、ぜひ常総生協の組合員の皆様にも知って・食べてもらいたいと感じたからです!この回では能勢農場の魅力をたっぷりお伝えします。

★現地に着いた瞬間ビックリ!あれ、牛舎の臭いが...

現地に着いた瞬間、まず驚いたのが牛舎の臭いの少なさです。山道を車で走り、能勢農場からさらに上り坂を登っていくと牛舎があります。ただ近づいても牛舎から臭いがしません。一般の牛舎であれば、牛の糞尿などでマスクなどでは到底防げない臭いがします。掃除をしてもしても取りきれない臭いが原因で、住宅地の近くでは牛を飼えないのが現状です(臭いを消すために牛舎に酵素を撒き発酵を促進させる所もありますが、そうした事もしていません)。その秘密は自家配合の飼料にありました。



★一般の流通輸入肉と能勢農場の牛との違い

比較項目	一般の牛(流通輸入肉)※1	能勢農場の牛
飼料(配合飼料)	・草類(ごはん) ・トウモロコシ、大豆、綿実、 麦(おかず) 等	★米ぬか ★バガス(サトウキビ搾汁後の残渣) ★糖みつ ★ビールかす ★おから ★発酵ふすま ★藁(わら) ⇒農場で自家配合(全体飼料の60%)残り40%は市場調達。自家配合比100%を目指す。
ホルモン剤(成長促進剤)	ほぼ使用	不使用
抗生物質	適宜使用	不使用
ワクチン	適宜使用	どうしても必要な時のみ使用
肥育期間(生後→450~500kgになるまで)	約20ヶ月	26~27ヶ月

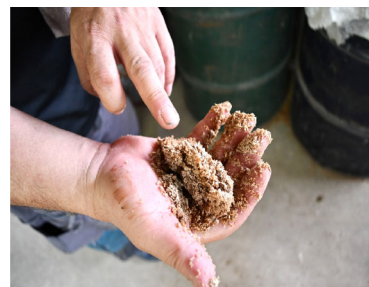
近年、一般のスーパーなどでもアメリカ・カナダなどからの輸入牛肉が多く見受けられるようになりました。安価でボリュームがある肉として人気が出ていますが、ホルモン剤（成長促進剤）を投与し、日本では最低でも25ヶ月齢くらいまで餌を食べさせなければ出荷できる体重にならないのに、20ヶ月齢の肉牛が、すぐに出荷できるくらいの体重にまで増幅します。歩留まりが良く効率的に育てることができそうですが、乳がんや前立腺がんといった「ホルモン依存性がん」の増加と相関関係にあるというデータも学会で発表されています。

※1東洋経済紙 2016年6月18日「米国産牛肉、「肥育ホルモン」の衝撃的な実態」から一部抜粋

地域や生産者と“協同の精神”で作る飼料

対して能勢農場は極力自然のままに育てたいという思いから、ホルモン剤・抗生物質は不使用。ワクチンも基本的に投与しません。一般には生後→450~500kgになるまで25ヶ月と言われていますが、能勢農場はさらに1~2ヶ月丁寧に育てて出荷します。

さらに自家配合飼料は、米ぬか、バガス（サトウキビ搾汁後の残渣）、糖みつ、ビールかす、おから、発酵ふすま、藁（わら）をローダーで混ぜ発酵させます。この中のほとんどのものが、**地元のもの**や関西よつば連絡会の生産者からの協力を得て調達しています。例えば、藁であれば、地元の農家さんからいただいています（初期除草剤1回の田んぼ）。変わりに能勢農場スタッフが牛糞を田んぼに運び“肥やし”にすることで農家さんも毎年良質なお米を作ることができ、まさに協同の精神で飼料を作っています。



能勢農場では単に歩留まりを求めるだけでなく「健康な牛を育てる」事を第一としており、常総生協の生産者でもある鈴木牧場の「人も牛も健やかに」という理念と、とても近いと感じました。

★能勢農場・食肉センターのスタッフさん紹介

株式会社 能勢農場代表：寺本 陽一郎さん（写真：右）



能勢農場は「関西よつば連絡会」の中の組織として、独立採算で事業をおこなっています。もともと寺本さんはよつば連絡会の商品の供給業務をおこなっていたのですが、「供給現場で会員に商品をおすすめしようとしても、詳細までが分からない。ならば自分で育て、職員や会員にすすめたい！」という想いで2002年から農場に勤めています。屠殺(とさつ)場も自らおもむき、内臓の色・質から健康状態を把握し管理までしています。

株式会社 能勢食肉センター本社工場 工場長：板谷真治さん

能勢農場と同じ敷地内に「食肉センター」があります。農場で育ったお肉を脱骨→部位ごとに切り分け→真空パックにして保存しています。一頭ごとにトレーサビリティ(飼育から加工・製造・流通などの過程を明確にする事)がしっかりしており、その日届けた肉は、いつどの肉かが分かるように全記録をおこなっています。



★お肉の味は？…脂がくどくなく、どんどん食べられる！

能勢農場でも人気の「上バラ・サーロイン・モモ」の部位を集めた「牛焼肉屋さんの3種盛り」がおすすめです。生協内部の試食会では肉質の美味しさはもちろんのこと、「牛特有の臭みがない」「脂がくどくない」といった意見が多かったです。

寺本さんは「脂がくどくないというのは、地元で食べてもらう方からも多く聞く。人間と同じで本当の意味で栄養のあるものを食べている人と、サプリや添加物まみれのもの食べている人との違い、という事ではないだろうか」と話します。7月2回15ページ**419番**・**420番**に掲載しています。ぜひ一度ご賞味ください！

能勢農場のお肉が初登場!

毎年卒業生たちからも贈り、皆さんのお肉さんがお楽しみに。サーロイン・モモを焼き肉用にカットして約10gずつのセットにしました。

419 牛焼肉屋さん 3種盛り
上(バラ、サーロイン、モモ)を焼き肉用にカットして約10gずつのセットにしました。
3種300g **2160円** (税) **2333円**
牛肉(大阪府)

420 牛バラたれ付焼肉大盛り
牛のバラ肉を特製のタレに漬け込みました。そのままだらでお召し上がりください。
500g **2119円** (税) **2289円**
牛肉(大阪府)

商品部 様のおすすり

総代会報告part2

【第2号議案】2019年度活動方針、予算（案）承認の件

○2019年度活動テーマ案 「JOSO食材でかんたん・おうちごはん」

常総生協では、「手作り」をおすすめしています。なぜなら、化学調味料や食品添加物をなるべく避けるには、余計な物を入れない「手作り」が一番安全、しかも、食材そのものの味を活かせるからです。

しかしながら、家庭環境の変化から「忙しくて時間がない」、子ども達が自立し、「食べてくれる人がいないから、作り甲斐がない」、また、高齢化によって、自分で作るのが困難な組合員が増え、「手作り」から遠のいてしまっている方もいます。

ところで、「手作り」というと、どんなイメージでしょうか。組合員の交流する機会があると、「料理は苦手」、自分の料理を「料理とは言えない」という声が多くです。野菜をゆでただけ、肉や魚に塩や胡椒を振って焼いただけ、冷凍食品や加工品を食卓に並べた、だから、たいした料理ではない、手作りとは言えないと思われるようです。

しかし、常総生協の冷凍食品や加工品は、工場で食材そのものの味を損なうことなく「手作り」されていますし、誰かの手が加えられる…たとえ切っただけ、ゆでただけ、焼いただけ、温めただけでも、人生でその時だけしか味わえない、二度と同じ物はできない、世界で一つだけの料理であり、ごちそうです。

常総生協の安全でおいしい食材だからこそできる「かんたん」料理を食卓に並べて、家族で「おうちごはん」を楽しみましょう。



第87回 脱原発と暮らし見直し委員会 報告

2019年6月10日(月) 常総生協本部組合員室 13時半～16時 組合員8人参加。

★チーム活動報告

○市町村のセシウム測定データ収集

水産物は水産庁が、キノコや山菜類の出荷制限は林野庁が発表しています。茨城の出荷制限は、コシアブラ、猪肉、アメリカナマズ、ウナギなどです。

○DVD貸出

先日、ヨウ素剤配布で講演いただいた守田敏也さんの本を生協で注文販売することになりました。お薦めの本をDVDの感想と共に紹介していきます。

★茨城県の出前講座で原子力安全対策について学習することになりました。

日時 2019年7月1日(月) 13:00～14:30

場所 常総生協組合員室

講師 茨城県原子力安全対策課職員

再稼働が懸念されている東海第二原発の原子力災害対策について茨城県の方針や考え方を知る機会です。委員だけでなく組合員の皆様もぜひご参加ください。

★東海第二原発の近隣6市村の首長に再稼働反対を求める署名にご協力ありがとうございました。ネットも含め2500筆以上が集まりました。参院選後に6市村の首長と県知事に提出に行く予定です。直前まで収集を続けますのでよろしくお願ひします。

★東海第二原発運転差止訴訟は、先月から裁判官への説明会が行われています。次回の弁論は7/18(木)水戸地裁です。

※委員会はどなたでも自由に参加できます。関心のある方はお気軽にお越しください。

2019年7月の予定

○生協基幹運営/地域活動・催し●	○提携・協同・連帯企画●
<p>7月ゴンタの丘「常総っ子応援団」は毎週木曜日に活動しています。試食会は7月25日(木)に開催します。</p> <p>7/1(月)脱原発とくらし見直し委員会 7/2(火)私たちのくらしと憲法 7/15(月)JFSA講演会 7/18(木)第25回東海第二原発訴訟団口頭弁論 7/19(金)第2回商品委員会 7/20(土)歴史を学ぼう-未来のために 7/31(水)定例理事会</p>	<p>7/6(土)ゆるカフェ～着物リメイク編第2弾～ 7/12、13(金、土)生協ネットワーク21総会 7/20(土)サンプル朝市</p>

ゴンタの丘 ボランティア登録者募集

ゴンタの丘で一緒に遊びながら、
準備・片付けに参加してくださるボランティアを募集しています！

2016年から始まったゴンタの丘も3年目を迎えました。毎週木曜日の10時から14時はゴンタの丘で外遊びする親子も増え、最終木曜日の試食会は子ども達も野菜をちぎったり、火起こしをしたりと、食べるだけでなく楽しみも生まれつつあります。



今年度は、COOP共済「地域ささえあい助成」に申請、審査に通過し、協賛を受ける事になりました。活動が認められたことに、喜びを感じつつ、継続して活動出来る様に考えています。

現在、ゴンタの丘を木曜日に解放使用するために、理事、組合員、ゴンタ利用者の常総っこ応援団で準備・片付けをしています。

ゴンタの丘を利用したことがある方、これから行こうかな～と考えている方、ボランティアに登録しませんか？登録して下さる方は、キリトリ線以下にご記入いただき供給にて提出をお願いします！

お問い合わせ；常総生協理事 新堀 矢島 増本

-----キリトリ-----

~~~~ゴンタの丘ボランティアに登録します~~~~

氏名 \_\_\_\_\_ 連絡先（電話番号） \_\_\_\_\_

組合員番号 \_\_\_\_\_ コース名 \_\_\_\_\_ 班名 \_\_\_\_\_

※「地域ささえあい助成」より、交通費の支給があります。